

世界初の「根の事典」ついに完成！

森田茂紀・阿部 淳（「根の事典」編集委員会代表）

「根の事典」は、当時、神戸大学農学部に所属しておられた巽二郎氏が、「根ハンドブック」を朝倉書店に紹介して下さったことがきっかけで企画されたものであります。約4年をかけて執筆・編集を進めて参りましたが、この度ようやく完成致しましたので、ご報告申し上げます。また、編集代表者の不手際で作業が大幅に遅れましたことを深くお詫び申し上げますとともに、ご協力頂きました執筆者・編集委員の方々および朝倉書店の山田正人様に心よりお礼申し上げます。

内容および構成は、すでにお知らせした計画からほとんど変更しておりませんので、ここでは概要のみ、再度ご紹介させていただきます。

1. 根の形態と発育（根の形態、根のライフコース）
2. 根の屈性と伸長方向（根の重力屈性の発現と重力感受のしくみ、根の重力屈性と内外の要因、根のその他の屈性と生長運動）
3. 根系の形成（根系の発達、根の量と分布様式、根系の形態モデル）
4. 根の生育とコミュニケーション（地上部－地下部関係、根のシグナルとコミュニケーション、根と植物ホルモン）
5. 根の遺伝的変異（根の起源と進化、根の多様性、根の遺伝的変異とその利用）
6. 根と土壌環境（土壌の物理性と根の生育、土壌の化学性と根の生育、土壌の特性）
7. 根と栽培管理（栽培方法と根、栽培管理と根、根と農薬、根と収量）
8. 根と根圏環境（根圏の土壌環境、根圏の微生物、根粒菌、菌根、根と病原菌）
9. 根の生理作用と機能（根の呼吸、根の養分吸収、根による吸水、根の支持機能、根における物質の生産や蓄積）
10. 根の研究方法（根の研究方法概論、根の生育の研究方法、根の生理作用の研究方法）

本文に入る前に、編集責任者が書いた「根の分類や名称に関する方針」を掲載しました。分類や用語の問題は単に技術的な問題ではなく、場合によって思想に係る重要な問題ですので、標準化は容易ではありません。しかし、事典としての最低限の統一を図る必要があると考えました。また、本文中での煩雑さを避けるため、植物名の対照表を付録としましたので、ご利用ください。さらに、簡単な用語集としても利用できる和英と英和の索引を付しました。「読む事典」としてだけでなく、「引く事典」としてもご利用頂ければと考えております。

なお、編集責任者の能力の問題から、不適切な箇所や見逃した誤植などが多いのではないかと心配しております。お気づきの点がございましたら、次回の改訂作業に備えるため、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

「根の事典」（ISBN 4-254-42021-8 C3561）（「根の事典」編集委員会 編、朝倉書店 刊）：
A4版、438ページ、函入上製本、本体価格14,000円。
一般書店でご注文頂けます。入手しにくい場合は直接、朝倉書店(TEL: 03-3260-7631, FAX: 03-3260-0180, E-mail: eigyo@asakura.co.jp) までお願い致します（送料520円）。